

# カローリングルール

2026年6月12日現在

- (1) 競技者は1チーム3名で3個のジェットローラ（以下「ローラ」という）を使用しゲームを進める（1人1個のローラ）。  
登録は5名までとし、送球順は自由である（ゲーム中の選手の変更はよいが、選手は必ず1回ローラを投球すること。また、交替した選手の再出場認めない）。
- (2) コートは11.88m×3.05mのテープでフロアに設置する（バドミントンコート半面を使用）。  
投球地は短辺の中央外線に立ちローラを投球する。
- (3) ローラは、コート内3.96m～11.88m以内に投球位置から投球する。
- (4) ローラは、投球位置からどのような体勢で投球してもよい。  
投げたローラは、移動されてもゲーム終了までそのままの状態で置く。  
ライン上のローラは有効とする。ローラは1人1投
- (5) ローラによる不公平を防ぐため、イニングごとにローラを交換する。  
(例→赤黒の場合、1イニング目に赤を使用したチームは、2イニング目は黒のローラを使用する)
- (6) 最初にジャンケンで先攻・後攻を決め、1イニング目は先攻チーム・2イニング目以降は勝ちチームの順でローラを投球する（各イニング内の投球順番は変更してもよい）。ただし、無得点で終了した場合、前のセットで先行だったチームが次セットも先行とする。
- (7) 得点の計算は、両チームのローラを全て投球し終わった後、ポイントゾーンに最も近いローラのチームが相手チームの一番近いものより近いもの全てが得点となる。なお、同距離の場合は、両チームにポイントゾーンのポイントが与えられる。
- (8) 両チームのローラが必ずしもポイントゾーン上にない場合は引き分けで、両チームの得点は0点で次のイニングに進み、先攻の順番は同じとする。
- (9) ポイントゾーンの青、黄、赤の間の白色上に停止した場合は、低いポイントを採用する。5イニング終了時に総点数の多いチームが勝ちとする。同点の場合は、チーム代表者1名による勝敗決定戦を行う。  
(各チーム1個のローラを都度投球し、ポイントゾーンの中心から近いチームの勝利とする。) なお、両者、ポイントゾーンの中心から同距離の場合は代表者ジャンケンで決定する。
- (10) 組み合わせは出場チーム数により主催者で決定する。リーグ戦で同率の場合は、①得失点差、②代表者ジャンケンの順で順位を決定する。
- (11) コートは下記のとおり設計する。

